

大谷学会

◇春季公開講演会

五月二十八日(水)午後一時より

於 聞思講堂

仏教における教団史研究の意味

東京大学名誉教授 平川 彰氏

人間・あそび・自然

本学教授 岩田慶治氏

終了後、両先生を囲んで懇談会を催す。

(於、第三会議室)

眞宗総合研究所

◇「海外仏教研究」研究会

* 四月十六日(水)午後四時十分

於 研究所会議室

“Buddhist Studies in USSR”

(スライド使用)

Dr. G. M. Bongard-Levin

Institute of Oriental Studies

Academy of Sciences, USSR

* 六月三日(火)午後四時十分

於 研究所会議室
“Sradhā and Jhāna”

Dr. Natmal tatia

Director, Jain Vishva Bharati,

LADNUN (Rajasthan)

* 六月五日(木)午後四時十分

於 研究所会議室

“Intent and Content of Yogacara
Philosophy”

Dr. John Keenan

Visiting Research Fellow, Nanzan

Institute for Religion and Culture

* 六月二十六日(木)午後四時十分

於 研究所会議室

“Pure Land Sectarianism and Com-
prehensiveness”

Dr. David Chappell

University of Hawaii

◇「海外仏教研究」仏教学特別セミナー

三月十八日(火)～四月二十二日(木)

の、毎火・木曜日

午後二時～三時三十分

於 研究所会議室

Dr. John Ross Carter

Professor of Religion, Colgate
University

◇研究所委員会

四月十四日(月)午後四時

於 研究所小会議室

一、昭和六十一年度「指定研究」につい

て

一、研究所報第15号の発刊について

◇「眞宗学事研究」全体会議

五月十四日(水)午後四時三十分

於 研究所小会議室

一、昭和六十一年度研究計画について

◇「海外仏教研究」全体会議

五月二十七日(火)午後四時十分

一、本年度研究事業計画

眞宗学会

◇広瀬果先生学長退任謝恩会

四月十六日(水)五時半より

於 万重

出席＝細川行信学会長はじめ多数

◇新入会員歓迎会並びに総会

五月十九日(月)二時半より

於 二三〇一教室

一、歓迎会

記念講演「阿闍世の救い」神戸和暦氏

二、総会

○昨年度会計報告、今年度予算審議

○昨年度行事報告、今年度行事予定

出席＝学会員である関係教員、

特修員、学生八〇名

◇臘扇忌法要共催

六月四日(水)三時より

於 聞思講堂

一、法要(動行・挨拶・感話)

二、講演「浄土の真宗・真宗の大学・真

宗の学」広瀬泉氏

~~~~~  
◇ 仏 教 学 会

## ◇ 新入会員歓迎会並びに総会

日時 五月十四日(水)十二時五十分より

十四時三十分

場所 一・二〇四教室

学会長小川一乗教授の「仏教学への道

しるべ」と題する講演の後、学会活動等

の紹介・説明を行った。

教員・学生約一〇〇名出席。

## ◇ 学術懇談会

——Dr. N. Tatia 先生を囲んで——

日時 六月三日(火)十六時十分より

場所 真宗総合研究所会議室

講師 Dr. Natmal Tatia

Director of Jain Vishva Bharati,

India

講題 Sraddha and Jhana

(主催 真宗総合研究所 協賛 仏教学会)

## ◇ 学術懇談会

——Dr. J. Keenan 先生を囲んで——

日時 六月五日(水)十六時十分より

場所 真宗総合研究所会議室

講師 Dr. John P. Keenan

南山大学宗文化研究所客員研究員

講題 The Intent and Structure of

Yogācāra Philosophy: Its Rele-

vance for Modern Religious

Thought

(主催 真宗総合研究所 協賛 仏教学会)

## ◇ 研究発表例会

日時 六月二十四日(火)十六時十分より

場所 尋源講堂

発表者及び発表題目

一、三論における「空」の二義

——横論と堅論

博士課程三回生 長谷慈弘氏

一、仏教における対論の意味

——チャンドラキールティの場合

教授 小川一乗氏

研究発表後、第一研究室分室にて、

発表者を囲んで懇談し、活発に討論した。

## ◇ 学術懇談会

——Dr. D. Chappell 先生を囲んで——

日時 六月二十六日(木)十六時十分より

場所 真宗総合研究所

講師 Dr. David Chappell

Professor, The University of

Hawaii

講題 Pure Land Sectarianism and

Comprehensiveness

(主催 真宗総合研究所 協賛 真宗学

会・仏教学会)

~~~~~  
◇ 宗 教 学 会

◇ 第五回大拙忌記念講演会

日時 六月二十八日(土)午後一時

場所 大谷大学尋源講堂

講師 古田紹欽氏

講題「大拙先生の遺言をめぐって」

今回は大谷大学宗教学会が新しい組織（宗教学分野の卒業生も会員として加わった組織）になって初めての大拙忌記念講演会であったので、卒業生の来聴が多かった。しかし一般人の来聴も例年になく多く、会場はほぼ満員であった。

講演会の後、第一回大谷大学宗教学会総会を同総会会議室で開催し、後卒業生を中心に懇親会を持った。

日本仏教史学会

◇新専攻生歓迎会

五月二十一日（水）午後二時

特別展「比叡山と天台の美術」見学

於 京都国立博物館
引き続き、懇親会

於 円山公園いふじ

参加||北西教授、名畑教授、佐々木(令)

助教授、草野専任講師、院生学生四十

五名

◇二回生史蹟踏査

五月二十三日（金）午後一時

特別展「平安絵画」見学

参加||佐々木(令)助教授、学生十八名。

東洋史学会

◇東洋史学会研究会

五月十五日（水）午後四時十分

於 博綜館L・L教室

「中国史蹟参観報告」

参加者||藤島教授・大内専任講師・桂華
助手・河上特別研修員・院生学生六十余
名。

今年三月三十日から四月九日に実施された「大谷大学東洋史中国史蹟の旅」の参観資料をもとに、引率された藤島先生と参加学生による参観報告が行なわれた。報告は史蹟の紹介にとどまらず、民衆の風俗・習慣にもおよび、その生活文化をも知ることができて有意義であった。

引き続き、野上名誉教授を交えて新入生歓迎の懇談会が行なわれ、親睦が深められた。

国文学会

◇大学院前期研究発表会

六月二十六日午後四時三十分より

於 文学部第四研究室分室一

『とはずがたり』と仏教

博士課程一回生 土門政和

『源氏一部大綱集』の性格

博士課程三回生 田尻紀子

中国文学会

◇春の史蹟踏査及び懇親会

五月十七日（土）十二時半より

今年度ははじめて京都を離れ、神戸にまで足をのびした。まず神戸市立中央図書館では御厚意により故吉川幸次郎博士の旧蔵書（吉川文庫）を書庫で直接に拝見し、各自長時間の調査で大いに成果を挙げることができた。さらに華僑の尊崇する関帝廟や名園相楽園をめぐり、夕方からは新入会員を迎えての懇親会が群愛飯店で催され、盛会裡に終えることができた。

参加者||平野顕照教授、河内昭円教授、若槻俊秀教授、橋本高勝講師、特修員、院生、学部生あわせて二十二名

短期仏教科

◇一、二回生合同一夜研修会

六月二十一・二十二日(土・日)

於 京都府立ゼミナールハウス

テーマ 大学と私

参加者 学生四十二名、三桐短期大学部

長、神戸仏教科主任、安藤智信、

安藤文雄、一色、江上、小谷、

小野、延塚、舟橋、三明、古田、

宮下、安富、兵藤、松田、加治、
藤嶽の諸教員。

短期国文科

◇文楽鑑賞会(於 国立文楽劇場)

*一回生A B C Dクラス、六月十六日(月)

午前十一時? 映画「文楽」、解説・人

形の遣い方、人形浄瑠璃「一谷嫩軍記」

を鑑賞する。参加、石橋・喜多川両助教

授、沙加戸専任講師、後小路助手、赤瀬

講師、山崎特別研修員、学生百四十余名。

*二回生A B C Dクラス、六月十六日(月)

午後二時? 映画「舞台裏の若者たち」、

解説・義太夫節について、人形浄瑠璃

「三十三間堂棟由来」を鑑賞する。

参加、片岡教授、喜多川・入部両教授、

沙加戸専任講師、後小路助手、赤瀬講師、

山崎特別研修員、学生百余名。